

発 言 通 告 書

発言者氏名	小林伸行
発言の会議	平成30年 6月 6日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 保育園と幼稚園について

(1) 保育園完全給食について

ア 市長退職金廃止は、市長が市長選時に掲げた一丁目一番地の公約で、その用途として例に挙げたのが、保育園での主食提供だった。一刻も早く、市民に期待させたとおりに公約を果たしてほしいと考えている。市長のお考えを伺う。

(2) 幼保無償化の段取りについて

ア 保育園の無償化は、公立保育園へ入園したい方が全て入れるようになることが条件だと考える。市長のお考えを伺う。

イ 本市の保育料は所得階層ごとに異なる。そして、国の定めた基準額よりも、市単独で補助し、保育料を低減させている。市長の言う無償化というのは、もっと市単独で補助するということで間違いないか。

ウ 保育料を改定し、いますぐ低所得層の保育料を無償化すべきだ。その財源は、高所得層の保育料補助を撤廃することで生み出してはどうか。市長のお考えを伺う。

エ 幼稚園の延長預かり費用を全額補助し、無償化してはどうか。

あわせて、低所得層の月謝も全額補助し、無償化してはどうか。市長のお考えを伺う。

オ 本市で育つ子どもたちのうち、保育園に入園するのはごく一部だ。他の方法でもニーズを満たせる世帯が保育園を使わないよう政策誘導してはどうか。市長のお考えを伺う。

2 小学校について

(1) 学校運営協議会制度の導入について

ア 文部科学省が推奨する学校運営協議会制度、つまりコミュニティ・スクールを、実態として機能していない学校評議員制度にかえて、まずは市内全小学校に導入することが望ましいと考える。市長と教育長のお考えを伺う。

イ この学校運営協議会制度を根づかせる中で、地域運営協議会を発展的に解消し、地域経営も担っていただく。そういった方向性も考えられる。市長と教育長のお考えを伺う。

(2) 「教育旅行」の正当性について

ア 本市においては、卒業遠足と称して東京ディズニーランドに遊びに行く事例が少なくないという。高額な支出を伴う娯楽施設へ「教育旅行」と称して遊びに行くのは今後慎むよう、教育委員会から各学校に指導してはどうか。教育長のお考えを伺う。

イ 学用品等費の使途については、年初のPTA総会の場で報告をし、承認を得るよう、各学校に指導してはどうか。教育長のお考えを伺う。

3 中学校について

(1) 部活動「外部顧問」の導入について

ア 「部活動指導員」という名の「外部顧問」を雇う制度を、年度内に市単独で試行的に導入し、来年度にはしっかりと補助も受けて、本格実施できるようにしてはどうか。市長と教育長のお考えを伺う。

(2) 校則のありようについて

ア 昨年度、髪の毛の色が茶色であることを理由に、他の生徒と一緒に授業を受けさせることを市内某中学校が拒んだという事例があった。公平に提供されるべき公教育で、人間の姿・形を理由に差別的な対応をするなどということがあってよいのか。教育を受ける権利をどう考えているのか。教育長のお考えを伺う。

イ 校則に生徒の容姿まで制限するような規定を設けるのであれば、校則の策定に生徒も参加できることが条件とならなければならない。あるいは、そのような規定を設けるべきではない。本市ではどちらにするのか。教育長のお考えを伺う。

(3) 昼食時間について

ア 中学校での昼食喫食時間は、15分間と非人間的に短い。この問題については、何人もの議員が指摘してきたが、この4月に解消されなかったようだ。教育委員会は、なぜこの問題を放置したのか。その責任をどう考えているのか。教育長のお考えを伺う。